

Jアラート通報時対応について

全国瞬時警報システム「Jアラート」が伝達された場合、大会主催者と審判長の判断によりレースが中断れる。以降のレースについては下記の対応とする。

(1)Jアラート伝達時の対応

①(スタート前)

Jアラートが伝達

Jアラートが解除され、各中継地点において、安全を十分確認し、問題がない場合は、競技会を実施する(スタート時間に影響がある場合は関係部署と調整する。)

②(スタート後)

上位3チームが第6中継所通過後にJアラートが伝達された場合

当該時点での順位を公式順位とする

③(スタート後上記②以外)

スタート後に、途中(第6中継所未達)でJアラートが伝達された場合

大会中止

(2)大会中止の措置

①(スタート前)

- ①Jアラート解除はあったものの交通規制等で開催困難と想定された場合。
- ②関係部署との協議内容で開催困難が想定される場合。
- ③その他

(代替実施)

1週間以内に代替大会を実施する。同大会に準じた内容での実施。
(場所:クロカンパーク)

②(スタート後上記(1)③の場合)

スタート後に、途中(第6中継所未達)でJアラートが伝達された場合

(代替実施)

- ①1週間以内に代替大会を実施する。(11/16中実記録会)
- ②内容:出場全チームが通過した中継所を最終とし(前記の中継所までの記録は有効)それ以降の区間は10000mの合計タイムを加算する。(例:第3中継所まで有効の場合4区~7区エントリー選手による合計タイムとなる。)選手変更については、大会規定に準じる。

以上